



番組内容

(微力ですが…) **福岡・九州・ニッポンの一生懸命を応援します！**

『ぐっ!ジョブ』は、「働くひとのドラマ」と「九州企業の先進的な取り組み」を楽しく分かりやすく、ギュッと凝縮した30分。独自の技術とアイデアで商機をうかがう挑戦者たちを追いかけます！

「九州にこんな会社があったんだ！」とプチ発見するもよし、これから社会にはばたく学生さんなら、新しい時代の〈働き方〉を考えるもよし。

九州を愛する中島浩二と原田和恵のコンビが、気になる名物経営者をスタジオに招き、VTRとここだけトークで「等身大のケーザイ」を楽しむ30分です！！

《出演者》 中島浩二／原田和恵／企業経営者の皆さん

テーマ

アナタの知らないアジアの玄関港 博多港国際コンテナターミナル！（仮）

生活必需品から半導体・自動車まで、あらゆる物流の拠点として九州人の暮らしを支え、その経済効果は2兆円（！）とも言われる「博多港国際コンテナターミナル」に潜入。高い環境・省エネ性能を誇る大スケールの設備群や、

全国に先駆けた情報公開型ITシステムなど、その先進的な取り組みの成果を再確認します。また、港に従事する人々の仕事現場に密着。「仕事人」のスゴ技&ウラ話に仰天！！

放送日時

2013年7月13日（土）14:30~14:59

博多港ふ頭株式会社〈福岡市東区香椎浜ふ頭 4-2-2 TEL092-663-3111〉

■代表取締役社長:江頭和彦氏

■設立:1993年



《壮大な物流拠点》

博多港国際コンテナターミナルには約35カ国から月間200隻のコンテナ貨物船が就航。

その貨物取扱量は年間約85万個で全国6位となる！港からは鉄道・高速・空港へと短距離で接続し、家具を筆頭に、衣類、家電など、海外からやってくる暮らしに欠かせない物品が九州、全国へと流通している。

そこに関わるのは船会社、荷役会社、運送会社などなど、約30万人。経済効果は2兆円とも言われている！

プロフェッショナル

《港の仕事人 たち》

ターミナルで毎日フル稼働する巨大な特殊車両「ストラドルキャリア」。コクピットから数10メートル下にあるコンテナを、ミリ単位の操作でキャッチ&リリース。スピーディかつ正確な、この道20年の熟練操縦者のテクニクに迫った。

そしてコンテナの在庫や出し入れを管理するコントロールセンターでは、スタッフが休みなく指示を出す。その圧巻の仕事ぶりに密着。

その他港の重要な武器となる、ガントリークレーンなどの荷役機械を常に万全な状態にしておくためにターミナルを影から支える立役者である、若きメンテナンススタッフの一日にも密着。

《港の管理者》

コンテナターミナルの管理運営するのは「博多港ふ頭株式会社」。コンテナターミナルの敷地や施設を船会社、港湾荷役会社などに貸し出して収入を得ている。数ある日本の港とのし烈な競争を勝ち抜くにはたゆまぬ企業努力が必要となる。

番組ではその取り組みの数々に密着する！

▼営業部隊▼

日本の主要港の中でも先駆けて営業チームを発足したのが博多港。語学堪能な営業マンたちが、年間200件&2,000人以上視察者をターミナルに招き入れ、国内外の様々な海運、港湾、物流や貿易関係者や企業に積極的にアプローチしている！

▼最新鋭設備▼

ストラドルキャリア&トランスファークレーンなど作業効率抜群の最新鋭設備には、電動型やエネルギー回生システムを取り入れたハイブリッド型を導入！従来のディーゼル式に比べ、エネルギーコストとCO₂排出量を劇的に削減！他にも開閉式の屋根で覆い冷凍コンテナの温度管理をする実験も行われているなど、「日本一のエコターミナル」を目指して躍進中。コストを削減するだけでなく、エコに関心の高い大企業の注目を集めている。

▼IT活用で待たせない！▼

港の施設を時間借りする業者は、如何に素早く荷物を捌き、無駄な利用時間をカットするかが重要。

以前はコンテナ貨物の受け取り待ちのトラックがターミナル前に4kmにも及ぶ渋滞を作り、周辺にも悪影響を及ぼしていた。

そこで博多港では物流ITシステム「HiTS」を導入。インターネット上でターゲットのコンテナが今どんな状況かリアルタイムで確認でき、ヒューマンエラー減&効率UPを実現。

▼エコターミナルの取組みで金賞を受賞▼

港湾荷役機械の環境やBCPへの取組みが国際的にも評価され、IAPH(国際港湾協会)のLA総会で金賞を受賞。

このような先進的な港湾荷役機械のメンテナンスを行っている、港湾の影の立役者に密着取材。